

2025年1月6日

報道関係各位

一般社団法人日本少額短期保険協会
東京都中央区八丁堀三丁目12番8号
HF 八丁堀ビルディング2F
会長 花岡 裕之

日本少額短期保険協会 2025年 協会長年頭所感

2025年を迎えるにあたり、皆様には謹んでお慶び申し上げます。

昨年の年頭に発生した令和6年能登半島地震から一年が経過いたしました。今なお不自由な状況にある多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早く被災前の日常を取り戻せますよう、祈念いたしております。

少額短期保険業界は2006年に誕生して以来、今年で20年目の節目を迎えます。多くの皆様からご支持をいただいて成長軌道を歩み、2024年中間期末においては、保有契約件数が前年比7%増の1,197万件となりました。言い換えますと国民の皆様の10人に1人以上の多くの方々に少額短期保険をご愛顧いただいていることとなります。

私たちは、今後も重要な社会インフラの一端を担うものとして認識を新たに、「顧客本位の業務運営」の実現こそが信頼の礎という原点に立って皆様からの負託にお応えしてまいる所存です。

今年は、また当協会の「第2次中期3か年計画」締め括りの年でもあります。この3年間「3つのビジョン」に基づいて、業界の課題解決に取り組んでまいりました。

〈3つのビジョン〉

- ビジョン①：ガバナンス・コンプライアンスを一層強化し、真にお客様の信頼を得たリスクの担い手として評価される業界になること。
- ビジョン②：ユニークで独創的な商品を提供し続けることでお客様に認知され、役に立つ存在になること。
- ビジョン③：少額短期保険業界のあるべき姿に係る提言内容を実現し、お客様の利便性向上と業界の成長軌道を確保するとともに、会員各社が業務革新を進め円滑に業務を遂行できる環境を整備する。

これらビジョン実現に向けて「ガバナンス・コンプライアンスの総合対策」の実施をはじめ、「孤独死対策」等の社会課題解決への対応、業界の「DX推進」に向けた会員会社向け業務支援ツール開発等の取組みを進めてまいりました。次年度からスタートする次次中期3か年計画では、この流れをより一層加速させ、お客様からのなお一層の信頼向上と業界の健全な発展に資するよう、業界一丸で力を尽くしてまいります。

最後になりましたが、国民の皆様にとって本年が希望に満ち、多幸な年となりますことを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。